

<特集「[連用修飾的]複文」>

タイ語「連用修飾的複文」 “Clause Combining” in Thai

ウィッタヤーパンヤーノン(齋藤) スニサー
Sunisa Wittayapanyanon (Saito)

東京外国語大学世界言語社会教育センター
World Language and Society Education Center, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿は特集「連用修飾的複文」(『語学研究所論集』第20号, 2015, 東京外国語大学)に寄与する。本稿の目的は32個のアンケート項目に対するタイ語データを与えることである。

Abstract: This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘Clause Combining’ (*Journal of the Institute of Language Research* 20, 2015, Tokyo University of Foreign Studies). The purpose of this paper is to offer the Thai data for the question of 32 phrases.

キーワード: タイ語, 連用修飾的複文

Keywords: Thai language, clause combining

1. はじめに

本稿では、『語学研究所論集』第20号特集「連用修飾的複文」のアンケート項目の(1)から(32)までの例文の筆者訳によるタイ語訳を掲げ、それに適宜補足説明を加える。日本語の例文(1)に対して、異なるタイ語の語順にて、比較例示すべき複数の文が考えられる場合、(1)-1, 2...として複数の文を示している。それに加え、各例文を説明する目的で別の文を追加している場合は、(1)-a, b...として記載している。また、タイ語において同じ位置で日本語に対応するタイ語語彙が複数ある場合は、[...]とし、どの語彙を使ってもよいということを示す他、<...>で示したものは非表示とすることが可能であることを意味している。また本稿のグロスで使用している略語については、本稿末に一覧を記載している。なお、タイ語の音韻表記についてはウィッタヤーパンヤーノン(2015)に従う。

2. タイ語訳文データ

(1) 【同時動作】「彼はいつも新聞を読みながらご飯を食べる。」

(1)-1

kháw mák cà? kin khâaw pay <dúay> ?àan nǎjsǔupim pay <dúay>
he AUX.HBT eat meal SIM <together> read newspaper SIM <together>

(1)-2

kháw mák cà? kin khâaw lé? ?àan nǎjsǔupim [phróom kan/nay weelaa diaw kàn]
he AUX.HBT eat meal and read newspaper at the same time



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

(1)-3

kháw mák cá? kin khâaw phróom kàp ʔaan nãŋsũupim
he AUX.HBT eat meal simultaneously and read newspaper

(1)-4

kháw mák cá? ʔaan nãŋsũupim khanà thĩ kin khâaw
he AUX.HBT read newspaper while eat meal

(1)-1 は移動動詞 pay 「行く」を助動詞的に用い、A+pay B+pay 「B をしながら A をする」として同時動作を表す。A が主の動作となり、共格を示す dũay を pay の後に付加することもある。(1)-2, (1)-3 のように副詞節を用いて複数動作の同時性を示すことも可能である。(1)-4 は、B+khanà thĩ+A 「A の最中に B」という表現となる。

(2) 【継起的動作・物語的連鎖】「(私は) 昨日は 10 時に家に帰って、少しテレビを見て (から)、寝ました。」

(2)-1

mũawaan klàp thũŋ bãan sip moon <léew> duu thiiwii [nít nõy/pépnũŋ] léewkõ khâw nõn
yesterday return to home ten o'clock <CONJ> watch TV a little CONJ enter sleep

(2)-2

mũawaan phõ klàp thũŋ bãan sip moon kõ duu thiiwii [nít nõy/pépnũŋ] léewkõ khâw nõn
yesterday CONJ return to home ten o'clock LNP watch TV a little CONJ enter sleep

(2)-1 は接続詞を用いて、動作のつながりを示している。本例文では 3 つの動作があるが、全ての動作を接続詞でつなぐと、冗長な印象となるため、最後以外の接続詞は省略することもある。継起を表す接続詞としては、(2)-1 で示した他にも A+léew khõy+B 「A をしてから B」、A+kõn thĩ cá?+B 「B の前に A」、文語では A+léew cũŋ+B 「A, それで B」がある。(2)-2 のように phõ と接続小辞 (linking particle) kõ を用いて順接内容をつなぐ表現も可能である。

(3) 【継起：理由】「(私は) 昨日階段で転んで、ケガをしてしまった。」

(3)-1

mũawaan hòklóm thĩ banday [léew/léew kõ/léew cũŋ] dâyráp bàatcèp
yesterday fall down at stairs CONJ get hurt

(3)-2

mũawaan hòklóm thĩ banday kõlõay dâyráp bàatcèp
yesterday fall down at stairs CONJ get hurt

(3)-3

mũawaan hòklóm thĩ banday thamhây dâyráp bàatcèp
yesterday fall down at stairs make_CAUS get hurt

(3)-4

mũawaan hòklóm thĩ banday dâyráp bàatcèp
yesterday fall down at stairs get hurt

(3)-1 は(2)-1 と同様に継起を表す接続詞を用いる文型となる。但し、(2)-1 では用いることができる A+léew

khôy+B「A をしてから B」と A+kôn thii cá?+B「B の前に A」は、「A を確実に終えてから B をする」という順接内容を表すものであるため、理由の文脈では使用しない。(3)-2 では因果関係を表す接続詞 kôlœy を用いて、理由とその結果を示している。(3)-3 は使役動詞 thamhây を用いた形となる。一方で、内容的に因果関係が明白であれば、(3)-4 のように原因、結果の順番のみで、接続詞や使役動詞を用いないことも可能である。

(4) 【異主語】「今日も父は会社に行って、兄は大学に行った。」

(4)-1

wannii phô kô pay bôorisât <súan> phîchaay kô pay mahāalay
 today father also go company <on the other hand> elder brother also go university

(4)-2

wannii kô [mûan dæm/chên dæm] phô pay bôorisât <súan> phii chaay pay mahāalay
 today also as usual father go company <on the other hand> elder brother go university

「今日も」の「も」を表すためには、(4)-1 のように各文の主語の後、もしくは(4)-2 のように wannii「今日」の後に共格の意としての kô を付加する。(4)-1 では異なる主語の直後に kô があることで、それぞれの人物がいつものように行動することを示している。(4)-2 の場合は、「今日も」の直後に[mûan dæm/chên dæm]「いつもと同じ/いつものように」を置き、その後に 2 つの事象を並置し、同時に進行する事態を示している。なお、対比を示す接続詞 súan「一方で」は(4)-1, (4)-2 とともに、あってもなくても成立する。

(5) 【付帯状況】「(あの人は) 今日帽子をかぶって歩いていた。」

(5)-1

khon nán wannii sây mùak dæm
 person that today wear hat walk

(5)-2

khon nán wannii dæm sây mùak
 person that today walk wear hat

(5)-1 は状況を表す動詞の後に動作行為の動詞の順で、2 つの動作/状況が続けて起こることを示し、帽子をかぶった結果の状態ですく様態を示している。(5)-2 ではこれら 2 つの動詞の語順を入れ替えた文となるが、本例文の「帽子をかぶった状態で歩いていた」という意味を示す他、「帽子をかぶる行為をしながら歩いていた」といったように 2 つの動作が同時進行であると解釈することもできる文となる。

(6) 【並行動作】「(私は) 休みの日にはいつも本を読んだり、テレビを見たりしています。」

(6)-1

wanyùt pòkkati? baangthii kô ?aan nâjsûuu rûuu baangthii kô duu thiiwii
 holiday usually sometime also read book or sometime also watch TV

(6)-2

wanyùt pòkkati? cá? ?aan nâjsûuu rûuu mây kô duu thiiwii
 holiday usually AUX.HBT read book or NEG also watch TV

(6)-3

wanyùt pòkkati? cá? ?aan nâjsûuu bâaŋ duu thiiwii bâaŋ
 holiday usually AUX.HBT read book somewhat watch TV somewhat

(6)-4

wanyùt pòkkati? cà? ?aan nánjsúuu bâaŋ baanŋthii kôo duu thiiwii bâaŋ
 holiday usually AUX.HBT read book somewhat sometime also watch TV somewhat

(6)-1 と(6)-2 では, *baanŋthii kôo A rúuu baanŋthii kôo B* 「時々A あるいは時々B」, *A rúuu mây kôo B* 「A でなければB」という選択を示す接続表現を用いている。(6)-3 で用いている *bâaŋ* は全体の中の一部を表す副詞となり, 休日にするものの一部として A, B があり, *A+bâaŋ B+bâaŋ* 「A も B もする」という意味となる。(6)-4 のように, *bâaŋ* と *baanŋthii kôo* の併用も可能である。

(7) 【理由・カラ】「時間がないから, 急いで行こう。」

mây mii weelaa léew <ná?> rîp pay kan thò?
 NEG have time PFV <PTCL> hurry go together PTCL

前件と後件に明確な因果関係が認められ, かつ誘いや依頼など働きかけのモダリティがある場合, 原因, 結果を示す文の順とし, 理由・原因を示す接続詞 *phró?* 等は不要となる。完結相を示す *léew* 「もう/すでに」を付加することで「もう時間がない」という状況を表すことができ, 発話者から対話者への働きかけの理由がより明確となる。また, 行為要求機能を有する終結小辞 *ná?* を付加すると対話者へ勧誘・誘いを示すことができる (ウィッターヤーパンヤーノン 2017)。

(8) 【理由・ノデ】「昨日は頭が痛かったので, いつもより早く寝ました。」

mûawaan pùat húa [kólœy/thamhây] nœn rew kwàa pòkkati?
 yesterday headache [so_CONJ/make_CAUS] sleep early than usual

(3)-2 で述べた因果関係を表す接続詞 *kólœy* または(3)-3 で用いている使役動詞 *thamhây* を用いる。 *kólœy* は「頭が痛い」が理由で, その結果「いつもより早く寝た」というニュアンスになるのに対して, *thamhây* は「頭が痛い」ことが原因となり, そのために「いつもより早く寝た」というニュアンスとなる。

(9) 【趨向/移動の目的】「あの人は本を買いに行った。」

khon nán pay súuu nánjsúuu
 pearson that go.DIR buy book

移動動詞+動詞の順で, 後ろの動詞は移動後に行くこと, つまりは移動の目的を示すことができる。9-(a) のように目的を表す文節は接続詞 *phúua* 「~する/~のために」を用いるが, 目的を聞かれた質問への回答などで用いる表現であり, 本例文の移動の目的を表す場合には使用しない。

(9)-a 「私はタイマッサージの勉強のためにタイへ行った。」

chán pay muan thay phúua rian nûat phœnbooraan
 I_F go Thailand CONJ study traditional massage

(10) 【目的・意図】「(彼は) 外がよく見えるように窓を開けた。」

(10)-1

pəət nâatâaŋ <phúua> hây hěn khâaŋnók chátchát
 open window <CONJ> CAUS see outside clear

(10)-2

pəət nâatâaŋ <phúua> cà? dâŋ hěn khâaŋnók chátchát
 open window <CONJ> AUX see outside clear

(10)-1 は使役標識 hây を用い, (10)-2 は目的・意図を表す cà? dâŋ を用いた表現となる。ともに目的を表す接続詞 phúua 「~のために」を用いることもできる。

(11) 【恒常的条件】「ここでは夏になると, よく雨が降ります。」

(11)-1

thiinîi phoo khâw nâaróon fôn kôo cà? tòk bòŋ
 here CONJ enter summer rain LNP AUX fall frequently

(11)-2

thiinîi khâw nâaróon léew fôn kôo cà? tòk bòŋ
 here enter summer PFV rain LNP AUX fall frequently

(12) 【確定条件・生起】「窓を開けると, 冷たい風が入って来た。」

(12)-1

phoo pəət nâatâaŋ lom yen kôo pát khâw maa
 CONJ open window wind cold LNP flow enter come

(12)-2

pəət nâatâaŋ léew lom yen kôo pát khâw maa
 open window PFV wind cold LNP flow enter come

(2)-2 で用いた順接内容をつなぐ phoo と kôo を用いた表現は, (11)-1, (12)-1 のように条件と結果でも使用可能であり, 結果節の主語が条件節と異なる場合, kôo は主語の直後に置かれる。(11)-2, (12)-2 はともに完結相を示す léew を用いて条件を示した後, 接続小辞 kôo で結果を示すことができる。

(13) 【確定条件・発見】「坂を上ると, 海が見えた。」

(13)-1

phoo piin khûm pay bon nəənkħăw kôo <məəŋ> hěn thalee
 CONJ climb up go.DIR on slope LNP <see> see sea

(13)-2

piin khûm pay bon nəənkħăw léew <məəŋ> hěn thalee
 climb up go.DIR on slope PFV <see> see sea

(13)-3

tŋ piin khûm pay bon nəənkħăw thŋŋ <məəŋ> hěn thalee
 must climb up go.DIR on slope LNP <see> see sea

(13)-1 は 11-(1)と(12)-1 と同じ *phoo* と *kôo* を用いた表現となる。主節の動詞となる「見える」は *mooj* 「眺める」と *hên* 「見える」の連続動詞となるが、*mooj* は省略が可能である。(13)-2 は(11)-2 と(12)-2 と同様、条件内容「坂を上る」の後に完結相を示す *léew* を付加したことによって発見内容を示している。義務の意味を持つ *tôj* を用いた表現 (13)-3 も考えられ、目標に到達することを意味する接続小辞 *thũj* の後に発見内容を入れる。(13)-3 は条件の内容を達成しなければ、結果の内容を成し得ないニュアンスも含むものとなる。

(14) 【仮定条件】「明日雨が降ったら、私はそこに行かない。」

phrũjnii <thaa> fõn tòk chán mây pay thĩnân ná?
 tomorrow <if> rain fall I_F NEG go there PTCL

仮定条件を表すには、接続詞 *thaa* を用いるのが一般的であるが、口語では *thaa* を省略することもある。*thaa* を省略する場合でも終結小辞 *ná?* がないと不自然となる。*ná?* は文脈に応じて機能が変化するが、ここでは対話者に同意や共感を求めるものとなる (ウィッタヤーパンヤーノン 2017)。

(15) 【反実仮想】「もっと早く起きればよかったなあ。」

(15)-1

<*thaa*> *tũũun rew kwaa nii kôo dii à?*
 <if> get up early than this LNP good PTCL

(15)-2

nãa cà? *tũũun rew kwaa nii à?*
 INFER get up early than this PTCL

(15)-1 では事実としての起床時間 *nii* 「この (起床時間)」と仮想の起床時間を比較した条件内容を命題とした上で、仮想の方がより良い選択肢であったことを示すため、終結小辞 *à?* を用いて、後悔や反省の意味を示している (ウィッタヤーパンヤーノン 2017)。*thaa* は非表示とすることも許容される。(15)-2 では推量を示す *nãa cà?* を用いることで (ウィッタヤーパンヤーノン 2020)、仮想である「もっと早い起床時間」の方がより良い選択肢であったという後悔や反省の意味を表している。両文で使用されている終結小辞 *à?* には、その命題内容に対して、聞き手に賛同または感情を共有することを求める機能 (ウィッタヤーパンヤーノン 2017) もあるため、反実仮想のニュアンスを強める役割も有している。

(16) 【反実仮想・前件否定】「あんなところへ行かなければよかった。」

mây nãa pay thĩ yàaj nán ləəy
 NEG INFER go place such that PTCL

(15)-2 と同様に推量を示す *nãa* を用いて「行かない」方がより良い選択肢であったという後悔や反省の意味を表すことで反実仮想を示している。(15)では「実際には早く起きなかった」のに対して、(16)では「実際にはあんなところへ行っている」ため、未然の意味を表す *cà?* はない方が自然であり、*nãa cà?* ではなく、*nãa* を用いる。強調を表す終結小辞 *ləəy* (Iwasaki, Ingkaphirom 2009) によって後悔や反省のニュアンスを示し、反実仮想のニュアンスを強めている。

(17) 【一般的真理】「1に1を足せば, 2になる。」

(17)-1

<thâa> nùŋ b̀ak nùŋ k̀o pen s̀oŋ
 <if> one plus one PTCL COP two

(17)-2

nùŋ b̀ak nùŋ pen s̀oŋ
 one plus one COP two

b̀ak 「足す」の結果を変化の意味を持つ pen 「～になる」(ウィッタヤーパンヤーノン 2020) で受けて示している。(17)-1 のように条件を表す thâa~k̀o を用いることもあるが, 本例文のような単純な内容であれば条件形式を使用しない (17)-2 の方が自然である。

(18) 【仮定条件+働きかけのモダリティ】「駅に着いたら電話をしてください。」

(18)-1

th̀ŋ s̀ath̀aanii [léew/m̀uaray] ch̀uay tho maa h̀a [ǹoy/d̀uay] ná? kh̀a?
 arrive station [PFV/when] TR.REQ call come.DIR to REQ PTCL PTCL.F

(18)-2

phoo th̀ŋ s̀ath̀aanii léew ch̀uay tho h̀a [ǹoy/d̀uay] ná? kh̀a?
 CONJ arrive station PFV TR.REQ call to REQ PTCL PTCL.F

(18)-3

th̀a th̀ŋ s̀ath̀aanii léew ch̀uay tho h̀a [ǹoy/d̀uay] ná? kh̀a?
 if arrive station PFV TR.REQ call to REQ PTCL PTCL.F

(18)-1 のように完結相 léew または特定の時点を示す m̀uaray を用いる。他にも(18)-2 の順接内容をつなぐ phoo や (18)-3 の仮定や条件を表す th̀a を用いることも可能である。ch̀uay+A+[ǹoy/d̀uay]はA という行為を依頼する場合に用いられる表現となる。

(19) 【仮定条件+願望】「日曜日になったら, みんなで公園に行きたいなあ。」

wan ?aathít ní ỳak pay s̀ans̀aathaaaraná? k̀ap th̀uk khon caŋ
 sunday this want go park with everyone PTCL.

前件に時間を表す内容で, 後件に願望が現れる場合, 条件文型を使用しないのが自然である。一方で, (19)-a のように仮定条件が時間ではない場合は, 条件文型が用いられる。

(19)-a 「姉が行くなら, 私も一緒に行きたい」

th̀a ph̀iis̀aaw pay chán k̀o ỳak pay d̀uay
 if elder sister go I_F also want go together

(20) 【心配】「明日雨が降ったら困るなあ。」

(20)-1

ph̀r̀ŋnii th̀a f̀on tòk khon ỳe læy
 tomorrow if rain fall AUX.INFER in trouble PTCL

(20)-2

phrûnñi fõn tòk khûn maa lâ? kôo yêe læy
tomorrow rain fall suddenly happen come DIR PTCL LNP in trouble PTCL

(20)-1 では仮定条件を表す接続詞 *thâa* と推測を表す *khøj* を用いているが、(20)-2 のように条件形式を使用しない構文も可能となる。自然現象や突然起きる出来事などで用いられる連続動詞 *khûn maa* が付加されることで突発性のニュアンスが加わり、心配を強めている。(20)-1, (20)-2 とともに強調を示す *læy* (Iwasaki, Ingkaphirom 2009) によっても心配が強められている。

(21) 【時間的前後関係に則していないナラ条件文】「家に来るなら、電話をしてから来てください。」

thâa cà? maa <thii> bâan chûay tho maa bók kòon <léew khôy maa> ná? khá?
if AUX come <to> home TR.REQ call come tell before <PFV afterwards come> PTCL PTCL.F

thâa と非表示となっている条件節の主語である対話者の意図を示す *cà?* で条件内容を示し、*A+kòon léew khôy+B* 「A を先にしてから、そのあと B をする」といった表現を用いるが *léew khôy+B* は省略することが可能である。本表現は対話者が実際に家に来る前にも、来てしまった後にも言うことができる。

(22) 【予想を伴った条件文】「(もうすぐベルが鳴るので) 鳴ったら、教えてください。」

(22)-1

kràdij daj [léew/mûarây] chûay bók dûay ná? khá?
bell ring [PFV/when] TR.REQ tell REQ PTCL PTCL.F

(22)-2

phoo kràdij daj léew chûay bók dûay ná? khá?
CONJ bell ring PFV TR.REQ tell REQ PTCL PTCL.F

(22)-3

thâa kràdij daj léew chûay bók dûay ná? khá?
if bell ring PFV TR.REQ tell REQ PTCL help

(18)と同じ表現を用いることになる。

(23) 【予想を伴わない条件文】「(もしかしたらベルが鳴るかもしれないので) もし鳴ったら、教えてください。」

thâa kràdij daj chûay bók dûay ná? khá?
if bell ring TR.REQ tell REQ PTCL PTCL.F

(22)-3 と同様に条件を示す *thâa* を用いるが、不確実な状況の場合は(22)-3 とは異なり完結相 *léew* は用いない。

(24) 【相関構文】「働かざるもの食うべからず。／働かない者は、食べるべきではない。」

(24)-1

khay <thii> mây thamjaan khon nán kôo mây sòmkhuan kin
someone <REL> NEG work person that LNP NEG must eat

(24)-2

khon <thii> mây thamjaan kôo mây sòmkhuan kin
person <REL> NEG work LNP NEG must eat

(24)-1 のように khray 「誰か」を用いた形での相関構文が可能である。他にも(24)-2 で示している接続小辞 kôo 「それなら」を用いた表現も可能である。

(25) 【言いさし・願望】「もう少しお金があったらなあ。」

(25)-1

thâa mii ɲən ʔiik nòy ná?
if have money more a little PTCL

(25)-2

thâa mii ɲən ʔiik nòy kôo dii si?
if have money more a little LNP good PTCL

(25)-3

thâa mii ɲən ʔiik nòy <kôo> khonj cà? dii
if have money more a little <LNP> AUX.INFER good

(25)-1 は対話の中で具体的な願望の内容が前出している上で, thâa の後に仮定や条件を表す内容が入り, 同意共感要求としての ná? を付加することで強い願望を表し, 言いさし文が可能となる。タイ語としては言いさし文ではなく, (25)-2 のように接続小辞 kôo と願望のニュアンスを強める終結小辞 si? を用いた表現, または (25)-3 のように根拠が不確かな推量の意の khonj cà? を用いて願望を示す表現でも同様のニュアンスを示すことができる。

(26) 【言いさし・提案】「これも食べたら？」

(26)-1

kin nîi dūay si?
eat this too PTCL

(26)-2

kin nîi dūay máy
eat this too Q

(26)-3

mây kin nîi dūay rǎə
NEG eat this too Q

(26)-1 では同意共感要求としての終結小辞 si? を付加し, 提案を示している。(26)-2 では疑問小辞 máy を用いて対話者の意思を伺うことで提案とし, (26)-3 は否定疑問文による提案となる。タイ語ではいずれも完全文であり, 言いさし文にはなっていない。

(27) 【言いさし・つき放し】「(やりたいなら自分の) 好きなようにやれば？」

(27)-1

kôo taam cay
LNP follow heart

(27)-2

kôo tham pay si?
LNP do go_DIR PTCL.IMP

kôo は情報結束語として談話内容の維持機能があり (峰岸, ウィッタヤーパンヤーノン 2019), kôo があれば条件節が非表示であっても内容を維持できる. (27)-1, (27)-2 とも kôo が文頭に置かれた上での命令用法となる. (27)-2 では pay 「～してしまう」によって突き放し感を, 勧告小辞 si? (Bhamoraput1972) によって命令・勧告のニュアンスを強めている.

(28) 【仮定的な逆接】「このコップは落としても割れない。」

(28)-1

kêew <bay> ní <[thũy/tòhây]> tham tòk kôo mây tèek
cup <CLF> this <CONJ> make_CAUS drop_TR LNP NEG break

(28)-2

kêew bay ní tòk mây tèek
cup CLF this drop NEG break

(28)-1 では逆説を示す[thũy/tòhây]~kôo を用いた文型で, [thũy/tòhây]は従属節の直前に置かれる. thũy は中立的, 客観的表現であるが, tòhây には「試してみる」というニュアンスも含むものとなる. 口語では [thũy/tòhây]を非表示とすることも許容される. また, (28)-2 のように連続動詞 tòk tèek 「落ちて割れる」の後者の動詞だけを否定することでも本例文の内容を表現することは可能である.

(29) 【アクチュアルな逆接】「このリンゴは高かったのに, ちっとも甘くない。」

(29)-1

?éppên <lúuk> ní phœŋ tèe mây wǎan ləəy sàk nít
apple <CLF> this expensive but NEG sweat PTCL a little

(29)-2

?éppên <lúuk> ní phœŋ [léʔ/thěem] mây wǎan ləəy sàk nít
apple <CLF> this expensive [and/additionally] NEG sweat PTCL a little

本来, アクチュアルな逆接には tháj thii~tèe~が用いられるが, (29)-1 のように口語では tháj thii を非表示とし, tèe のみとすることが多い. また, 本例文の内容から, 「高い」と「甘くない」のどちらも欠点として捉え, (29)-2 のように「1つの欠点に加えてさらに」といった表現も考えられる.

(30) 【逆接3】「彼の家に行ってみたけれども, 彼はいなかった。」

lɔŋ pay <thii> bân kháv maa léew tèe kháv mây yuu
try go <at> home he come_DIR PFV but he NEG exist

異主語であっても, (29)-1 と同じく逆説を表す接続詞 tèe を用いる.

(31) 【時間的期限[1]】「あの人が来るまで, 私はここで待っています。」

chán < cà? > rɔɔ yùu thīnīnī < lè? > conkwàa khon nán cà? maa
 I_F <AUX.VOL> wait PROG here <PTCL.VOL> until pearson that AUX.FUT come

特定の時点までの継続性を示すには conkwàa 「～するまで」を用いる。意思を示すためには cà? や小辞 lè? を用いるが, これらは両方同時に用いることも, いずれか一方のみの使用でも意思を示すことができる。最初の cà? は意思, 二番目の cà? は未来を表している。

(32) 【時間的期限[2]】「あの人が来るまでに, 食事を作っておきますよ。」

cà? tham ʔaahǎan < triam > wáy ná? kòon khon nán cà? maa
 AUX.VOL make cuisine <prepare> STAT PTCL before pearson that AUX.FUT come

継続性を必要としない時間的期限を示すためには接続詞 kòon 「～の前」を用いる。最初の cà? は意思, 二番目の cà? は未来を表しているのは(31)と同じであるが, (32)では最初の cà? は意思の他にも「まだ食事を作っていない」という未然も示すことになるため, 非表示とすることはできない。

略語リスト

AUX	助動詞	auxiliary	NEG	否定	negation, negative
CAUS	使役	causative	PFV	完結	perfective
CLF	類別詞	claassifier	PROG	進行	progressive
CONJ	接続詞	conjunction	PTCL	小辞	particle
COP	コピュラ	copula	Q	疑問小辞	question particle
DIR	方向動詞	directional	REL	関係詞	relative
F	女性	feminine	REQ	依頼	request
FUT	未来	future	SIM	同時性	simultaneous
HBT	習慣	habitual	STAT	状態	stative
IMP	命令	imperative	TR	他動詞	transitive
INFER	推量	inferential	VOL	意思	volitional
LNP	連接小辞	linking particle			

参考文献

- ウィッタヤーパンヤーノン スニサー. 2020. 「タイ語の情報構造と名詞述語文」『語学研究所論集』24号, pp.547-562.
- ウィッタヤーパンヤーノン スニサー. 2017. 「タイ語話し言葉コーパスから見た「語用論的終結小辞」」『アジア・アフリカ言語文化研究』94号, pp.111-136.
- ウィッタヤーパンヤーノン スニサー. 2015. 「日本人タイ語学習者の発音問題と指導方法に関する一考察」『東京外大 東南アジア学 第20巻』, pp.37-55.
- 峰岸真琴・ウィッタヤーパンヤーノン スニサー. 2019. 「タイ語の主題とその談話での現れ方について」『言語の類型的特徴対照研究会論集』第2号, pp.111-135.
- Bhamoraput, Amara. 1972. *Final Particles in Thai*. Marter `s thesis, Brown University.

Iwasaki, Shoichi and Ingkaphirom, Preeya. 2009. *A Reference Grammar of Thai*. Cambridge. Cambridge University Press.

執筆者連絡先 : sunisa@tufs.ac.jp

原稿受理 : 2022 年 1 月 7 日